

戦没者顕彰

行政が顕彰石碑の管理を

令和3年度から草刈り実施



矢野 昭三 議員

答 青木地域住民課長

慰霊碑の草刈りは、令和3年度に予算計上し、皆さんにはかりたい。慰霊碑に通じる道等の

維持管理については当面、地域整備事業の予算で対応するが、来年度に予算措置を講じる。崖崩れ等で隣の土地を傷めている所は、再度調査をして県へ積極的に提言要望をする。遺族会の意向を最も大切にしながら、課題解決に向けて取り組んでいく。

問 旧佐賀町の戦没者顕彰石碑は大字（地区）ごとに設置されているが大変荒廃している。『常会』の記録では、戦没者石碑建立に関する件「戦争完了後マデ建立セズ。」「石碑は戦争見透シガツクマデ絶対二見合セル事。」の記録がある。歴史を顧みて行政が先頭に立ち維持管理をするか、更に戦没者顕彰施設等の整備及び維持管理について、県とどの様な協議を行ったか問う。



戦没者顕彰施設内に建つ慰霊碑

空き家計画

策定した理由は

公共福祉と地域振興のため

問 何故空き家計画を策定したのか、また所有者を特定するための調査を行っているか。

人口減少や社会的ニーズの変化に伴い、空き家が増加している。管理が不良な物は安全性の低下、公衆衛生の悪化等深刻な影響を及ぼす。公共の福祉の増進と地域の振興に寄与する事を目的に策定した。

答 金子まちづくり課長

固定資産税、登記簿による調査や地域の方から聞き取り等の調査をしているが、実際進んでいない状況もある。

佐賀港湾整備

南航路からの大波対策は

県へ改善を要望する



佐賀南航路から漁港に向け打ち寄せる大波

問 佐賀南航路を極めて強いうねり・大波が進出し漁港航路、泊地や住民の生活を脅かしている。どの様に理解しているか。

答 松本町長

外郭施設の機能回復に県港湾海岸課、幡多土木事務所と協議を重ねてい

る。

過去に予算の確保が出来なかったために未だに整備されていない。復旧工事として、来年度の予算要求に今、動いている。

南航路を通り抜け、漁港泊地に進入する波の対策は、外郭施設付近で行うと効果があると考え、県に対し改善策について要望を行いたい。

【その他の質問】

・答弁の仕方について